

松本市市民会館改築検討に関する報告書

はじめに

当懇話会は、市民会館の改築検討を進めるにあたり、本市にふさわしい市民会館の在りかた等について、市長から意見ならびに提言を求められました。

市の事業計画検討に市民が参画することは、市民本位の市政を進めるうえで、極めて重要なことと認識しております。

現市民会館は、昭和34年に開館して以来約40年を経過し、施設の著しい老朽化や利用率の低下が顕著になったこと等に伴う関係諸団体からの現地早期改築陳情や、議会の了承を得て実施された、専門家による現地改築可能性調査を踏まえて、幅広い分野の市民等から意見・提言を聞くために改築検討懇話会を設置した経過からしても、当懇話会の任務は重大と考えております。

懇話会は、学識経験者4名、市議会代表2名、利用団体等の代表14名、計20名の委員で構成され、塩尻市文化会館と富山市芸術文化ホールの視察も含め、5回に及ぶ熱心な検討を重ねてまいりました。

委員の皆様からは、それぞれの立場で、現地改築を前提として、21世紀にふさわしい市民会館の、性格、内容、規模、機能、管理運営等に対して、貴重なご意見、ご提言をいただき、懇話会としての報告書がまとまりましたので、ご報告申し上げます。

平成19年(2007年)に迎えることになる市制百周年にふさわしい都市づくりのために、教育文化都市や国際会議観光都市を念頭においた文化施設として、本報告を十分考慮しながら、市民会館改築検討を進めていただくよう要望します。

最後に、大変ご多忙の中、貴重な時間を割いて懇話会に出席いただいた委員の皆様に対し、深く感謝申し上げます。

平成11年1月26日

松本市市民会館改築検討懇話会
会長 三村 英俊

報告にあたって

当懇話会は、本市にふさわしい市民会館の性格、内容、規模、機能、管理運営等について、意見・提言を求められましたことから、各項目毎に報告することといたしました。

なお、個別意見・要望は各論併記といたしました。

1 施設の性格について

市内の施設との関連性に十分配慮し、芸術文化（舞台芸術）や大会等に対応出来る、市民に開かれた、出演者・観客の両方が使いやすい施設にしてほしい。

個別意見・要望

松本の文化と経済のシンボルとなるようにしてほしい。

市民の文化活動育成や、舞台芸術の創造・鑑賞の場としてほしい。

サイトウ・キネン・フェスティバルを考慮してほしい。

舞台に音響反射板を設置しない劇場型としてほしい。

用途廃止する社会文化会館の役割も含めた多目的としてほしい。

高齢者や障害者の利用に十分配慮してほしい。

ロビーに情報関連機器を設置するなどして常に施設を開放してほしい。

2 施設の内容について

大・小ホール、リハーサル室、会議室等を備えるとともに、舞台や客席等施設を構成する各室設備を充実してほしい。

個別意見・要望

敷地に最大限のホールを建設してほしい。

オペラも可能なホールとしてほしい。

劇場型中ホールと発表の場としての小ホールにしてほしい。

演劇が可能な小ホールや野外ステージを併設してほしい。

少人数を対象にした上演や展示が可能なホールとしてほしい。

飲食、会議、展示が可能な施設にしてほしい。

中・小ホールも、大ホールと同格に扱ってほしい。

楽屋は会議室にも兼用出来るようにしてほしい。

3 施設の規模について

長野県松本文化会館や松本市音楽文化ホールの規模と重ならない席数を持つ、最大1,800席の大ホールと、ジャンルにとらわれず多様な活動が可能な200~400席の小ホールとしてほしい。

個別意見・提言

市民が使う場合でも1,500~1,800席までの規模としてほしい。

市に施設が無いから県文を使う、という訳にいかないのでは、千何百席かの規模のホールは必要ではないか。

県文、音文との棲み分け、余裕ある施設配置、同規模都市との比較、出演者の表情や観客の反応等を考慮して、900~1,100席の中ホールと200~300席の小ホールとしてほしい。

催事に都合の良い300~400席の小ホールを大ホールと同じウエイトで考慮してほしい。

ホールの規模にこだわって、楽屋、廊下、会議室へしわ寄せがいくことは避けてほしい。

900~1,100席のホールだと、オーケストラピットが必要なミュージカル等の場合、200席減って実質的には900席になるが、その程度の規模でよいのかどうか。

4 施設の機能について

市民会館の現状等を踏まえて、改築にあたっては各機能の充実を図ってほしい。

個別意見・提言

映像、音響、舞台機能を充実してほしい。

福祉日本一を目指すなら、施設の細部にも目配りしてほしい。

観客の立場にたったホワイエ、ロビー、客席の椅子・勾配、通路を考慮してほしい。

小ホールはフリースペースとし、大道具の搬入口も設けてほしい。

天井が高く光が沢山入るロビーとしてほしい。

隣接する美術館への喫茶店設置方針と関連させた気楽に立ち寄れるロビーを設置してほしい。

観客の待ちスペースを館内に設置するとともに、自由に飲茶出来るサービスエリア

アを確保してほしい。

舞台と同じ稽古や練習が可能なりハーサル室や会議室を設置してほしい。

500人収容出来る控室を設けてほしい。

20～30人規模の楽屋を設置してほしい。

二階等の側面客席は出っ張りをなくし目立たないように配慮してほしい。

ステージレベルの位置へ楽屋を設置することが望ましい。

音響反射板を設けないシンプルな舞台にしてほしい。

女性トイレを多めに設けることやチャイルドシートを設置してほしい。

クローク、荷物預かり、傘の保管等細部にも配慮してほしい。

ホールの壁、床の材質、色彩について、使う側の意向を反映させてほしい。

冷暖房は各室で調節出来るようにするとともに、客席の冷暖房機能を充実してほしい。

催事がある時は、飲食類の売店を設置してほしい。

各楽屋にトイレ、洗面所、モニターテレビ、電話を設置するとともに、舞台裏への分かりやすい通路を確保してほしい。

既に開館している他施設の状況を調査し「こうあってほしくない」ということを取り上げて論議してほしい。

5 施設の管理運営について

開館時間を早朝から夜遅くまでなるべく長くする等、利用者側に立った開かれた管理運営をしてほしい。

個別意見・提言

準備、作業のためには午前9時開館では遅すぎるので、時間的制約を緩和し、30分～1時間早めることと、アマチュアの勤務後利用を考慮して、閉館時間も他都市並に午後10時までとしてほしい。

ホールの評価は、そこで働く人の運営への取組み姿勢如何によることに留意してほしい。

施設の使用料金体系は、音文を参考にして安くしてほしい。

使用申請の受付は、現行の6ヶ月前からでなく、1年前から出来るようにしてほしい。

減免はどの部屋でも対象にしてほしい。

民間委託も考慮してほしい。

民間人を館長に据えることも一考してほしい。

文化を育てる行政の力をみせてほしい。

自主事業を行うかどうかは、論議してほしい。

県文との連携を目指してほしい。

開館時間は、管理する側の条件もあるので、制約は仕方がない。

6 特に配慮すべき事項

駐車場・道路関係

ア 駐車台数をホール収容人数の1/3程度とすると400～500台は必要となるから、隣接駐車場の立体化を考慮してほしい。

イ 大きな大会を行う場合、駐車場確保は避けられない問題なので、十分考慮してほしい。

ウ 隣接する美術館の駐車場の夜間利用を考慮してほしい。

エ 児童遊園や敷地東南にある大木は、なるべく残してほしいが、進入路との関係で伐採する必要が生じた場合は、早めに付近の住民に対応してほしい。

オ 市民会館、隣接駐車場周辺の道路が狭いので、大道具の搬入等を考慮して、今から計画的に整備してほしい。

景観・緑地関係

ア 建物周辺に緑を残して、憩いの場としてほしい。

イ 視察した塩尻市や富山市のホールは建物周辺の緑が少なすぎ、景観上問題があると思われるので、改築にあたっては、緑の確保に配慮してほしい。

ウ ライラック公園は緑地帯として、出来るだけ残してほしい。

立地・敷地関係

ア 場所の利点や立地が良いことをフルに活用してほしい。

イ 美術館、あがたの森、市民会館、スズキメソード等を一連の文化ゾーンとしてとらえ、これに関連して改築を考慮してほしい。

ウ 松本駅－天神－市民会館－あがたの森をつなぐイメージを大切にしてほしい。

エ 現地改築にあたっては、日照権や地下水位を念頭において進めるとともに、地下水位については、美術館と同様に十分調査してほしい。

オ 地下水の問題があるなら、建物を高くする等前例にとらわれず創意工夫してほしい。

カ 地元として、敷地内にある池を潰して用地にすることを同意は得られたが、池は防火用水としての機能もあるので、そのことは地下等に確保してほしい。

早期改築について

冬季オリンピックを契機に、長野市には大型施設が集中的に整備されるとともに、新幹線の開通によって首都圏との時間的距離が短縮されたため、全国的規模の大会や全県的な催事が長野市偏重の傾向となって現れてきている。

そこで、松本市の持つ自然や地理的な優位性を生かしてコンベンションを受け入れるためにも、その受け皿となる市民会館を、出来るだけ早く改築してほしい。

松本市市民会館改築検討懇話会の経過

1 松本市市民会館改築検討懇話会設置までの経過

平成 9年6月 専門家による現地改築可能性調査を開始

平成10年5月 市議会総務委員協議会

専門家による現地改築可能性調査結果や財政見通し等についての報告と懇話会設置等今後の進め方について了承

平成10年8月 市議会総務委員協議会

市民会館改築検討懇話会を設置することについて了承

平成10年9月 松本市市民会館改築検討懇話会設置

2 市民会館改築検討懇話会の経過

年 月 日	内 容
平成10年 9月 4日	第1回市民会館改築検討懇話会開催 ・ 委嘱状の交付 ・ 会長の選出及び副会長の決定 ・ 市民会館改築検討の経過、施設の現状、文化ホールの全国的な状況等について説明
10月14日～ 10月15日	第2回市民会館改築検討懇話会開催 ・ 塩尻市文化会館（レザンホール）と富山市芸術文化ホール（オーバードホール）の視察
11月19日	第3回市民会館改築検討懇話会開催 ・ 施設の性格、内容、規模、機能、管理運営等について意見、提言の提出
12月15日	第4回市民会館改築検討懇話会開催 ・ 施設の性格、内容、規模、機能、管理運営等について意見、提言の提出
平成11年 1月19日	第5回市民会館改築検討懇話会開催 ・ 意見、提言の集約

松本市市民会館改築検討懇話会委員名簿

区分	氏名	住所	備考
会長	三村 英俊	松本市今井3570	市議会総務委員会委員長
副会長	草間 清子	松本市中央3-7-5	市社会教育委員
委員 1	有賀 志づ	松本市里山辺4026-1	市婦人団体連絡協議会会長
	石川 辰郎	松本市浅間温泉1-29-3	松本観光協会副会長
	石川 亘	南安曇郡豊科町5228-11	連合長野松本広域協議会議長
	大野 厚子	松本市里山辺3393-4	松本アマチュア劇団連合会会長
	小栗 哲家	都内新宿区百人町1-19-	舞台監督、プロデューサー
	高瀬 吉雄	松本市沢村2-15-23	市芸術文化祭協議会会長
	竹入 樹美子	松本市開智3-3-10	中信地区民踊舞踊連盟代表
	種山 久男	松本市埋橋2-3-16	第三地区町会連合会長
	羽生田 八郎	松本市旭1-7-18	長野県建築士事務所協会松筑支部
	林 勇次	松本市平田東1-28-15	松本青年会議所理事長
	備前 保	松本市大手1-2-12	(社) 才能教育研究会事務局長
	降旗 克彦	松本市中央4-7-1	松本商工会議所常務理事
	増田 博志	松本市大手4-11-1	市議会総務委員会副委員長
	宮坂 高尚	松本市大手2-9-25	会社社長
	村山 勲治	松本市今井3569	松本ハイランド農協代表理事副組合長
	百瀬 尋	松本市岡田下岡田539-1	松本市民劇場事務局長
	横山 宜子	東筑摩郡山形村3916	鑑賞団体「らの会」代表
横山 征雄	塩尻市中西条342-4	連合長野松本広域協議会事務局長	
輪湖 雅祁	松本市埋橋2-4-1	(財) 正派邦楽会甲信越支部長	

1の委員の任期は平成10年 9月～10年11月

2の委員の任期は平成10年11月～11年 3月